

「チェルノブイリへのかけはし」野呂美加さん講演会 子どもたちを守るために知っておきたい放射能のこと —ベラルーシの子どもたちが伝える低線量被曝の姿—

3.11の大震災によって、子どもたちの放射能汚染に脅える日々が始まりました。
愛媛県でも、空気中の放射線量が福島の前県宮城県と同じような値が出る日があるのが現状です。
もはや、“遠くで起こった他人事”ではありません。
日本全国、空気だけでなく、土、水、食物・・・あらゆる形で内部被曝の可能性がります。



と き 2011年11月3日(木・祝) 10:00~12:30

ところ 松山市男女共同参画推進センター「コムズ」
5F大会議室

資料代 ￥1,000(高校生以下無料)チケット有り。予約可。
経費以外は「NPOチェルノブイリへのかけはし」の活動費として寄付させていただきます。

定員 120名

託児あり:要予約 10月25日までに下記へご連絡ください。(200円/1人)

*講演会終了後、13:30~15:30 第3回「今この時 食べ方について話そう」
主催:ゆうき生協松山地区運営委員会(詳細は裏面参照)

今一番大事なものは、「ほんとうのことを知る」こと
何をどう防ぎ、どう引き受け、どう暮らしていくのかの選択肢を増やすために
子どもにかかわる全ての人に

低線量の内部被曝が長期化したときに、子どもたちが将来どんなリスクを負う可能性があるのかについて、
チェルノブイリ原発事故後、被曝したベラルーシの子どもたちを日本に招き「保養里親運動」やさまざまな
救済活動を20年にわたりつづけている野呂美加さんにお話していただきます。

【野呂美加さんプロフィール】NPO法人「チェルノブイリへのかけはし」代表。25年前に起こったチェルノブイリ原発事故被災児童を日本で保養させる活動を1992年に知人と始める。これまでに招待した子どもは、19年間で648人。2005年国際交流基金より「地球市民賞」受賞。

福島第一原発事故発生以来、各地で主にお母さんたちのためのお話を開催している。夫と大学生の娘と3人暮らし。北海道在住。「チェルノブイリへのかけはし」<http://www.kakehashi.or.jp/>

*今年はベラルーシの子どもたちではなく、福島の子どものための救援活動をされるということです。

協賛:ゆうき生協/久万高原持続可能な社会を創る会/シングルマザー交流会

主催 子どもたちの未来を放射能から守る愛媛の会

連絡先 090-3788-4467(ノナカ) okierakanon@ybb.ne.jp

事務局ブログ <http://blogs.yahoo.co.jp/umiyamakaeru>